

一学期終業式

各種検定等合格者

文武両道を目指して各種検定に見事合格しました。おめでとう！まだ合格に至っていない人は2学期に栄冠が待っています！諦めず挑戦しよう！

実用英語技能検定合格 6/17, 7/8 実施

4級 (2年)甲斐 丈一郎
3級 (3年)大城 昊己 (2年)尾島 栖良 (2年)当山 陽向
準2級 (3年)東 洋希 (3年)渡辺 はるか

日本漢字能力検定合格 7/14 実施

5級 (1年)小野 瑠花
3級 (3年)大城 昊己
準2級 (3年)砂川 侑音 (2年)当山 陽向
2級 (3年)仲里 和歌子

基礎力テスト結果 9回実施状況／年間23回

1学期全回満点合格 (1年)大谷寧々

1学期全回合格

(1年)下山 心夏

(2年)東浜 旦昂 尾島 栖良 甲斐 丈一郎 当山 陽向 野田 晴天
本原 怜 柳橋 琉成 山之内 陽咲

(3年)東 洋希 大城 昊己 仲里 和歌子 永井 一ノ輔 渡辺 はるか

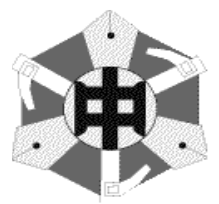
沃野

発行

7月 第10号

船浦中学校

校長 宮城裕子



3学年修学旅行 7/14,15,16

初の竹富町内での実施！！3日間の修学旅行に行って参りました！！竹富島、小浜島、石垣市で



は“船浦中が来る”と訪問先々で熱烈大歓迎を受けました。3年生はコロナ禍で延期になっていた中学校生活の最大イベント修学旅行が「やっと行けた」ですね。残念ながら九州にはいけませんでした。どこでも楽しめる3年生！町内のほかの島への旅はいかがだったでしょうか？・・・今回は無人島のカヤマ島でのキャンプもありました。船釣りもありました。代わり映えしない？！・・・イヤイヤ仲間との絆を深める時間が持てたのでは？

カヤマ島上陸から始まったちょっと変わった修学旅行。無人島の一番の悩みは“水”でした。



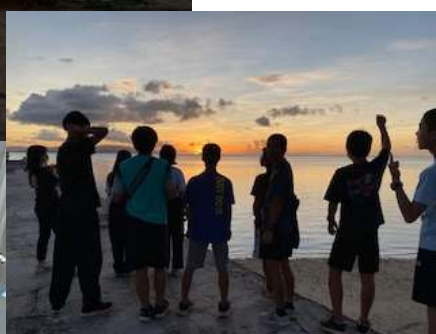
本校 HP へも掲載予定
です。もうしばらくお
待ちください。



無人島で
熱唱中の
船満男子



寝る場所・・
テント張りから
スタート



船釣りにでか
けるとこ！！
この後幻の島
浜島へ



上は竹富島西桟橋かの夕日
最後はホテルの方がフセ
ントしてくれた花火で
めました。



令和3年度一学期終業式 式辞

船浦中学校のみなさん、こんにちは！！4月、スタートしてから学校へ通った日数を知っていますか？一学期は70日間でした。昨年からの私たちの生活を脅かしているコロナ禍がまだまだ続いています。この間、各種行事の中止・延長、再延長と何度となく心が折れそうになったことでしょうか。私たちは「新しい生活様式」を模索しながら、また新しい学校生活のあり方にも慣れてきました。皆さんが感染防止対策としてマスクを欠かさない意識付けがされていることは、当たり前でありながら、偉いことでもあります。暑く息苦しいこともありますよね。自分と周りの人への配慮ができる皆さんに感謝です。

さて、一学期の終業式を迎えるに当たって、皆さんにも今、振り返りの時間として耳を傾けて欲しいと思います。まず、入学式の式辞の中で、中学校生活で身につけて欲しいことを3つお伝えしました。学校だより「沃野」1号の中でも紹介しました本校の3つの教育目標のことで、○自ら学び、考え、実践する生徒（知の側面）○心豊かで、自他を尊び尊び、思いやりのある生徒（徳の側面）○健康で、根気強く、たくましい生徒（体の側面）、これらの3つを常に意識し、達成できるように努めて欲しいと思っています。皆さんは、どこでこれらを意識することがあるのでしょうか。5月19日のスピーチ集会、タイトルは“継続は力なり”を発表してくれた一ノ輔さん、「やっていて意味があったんだ」「やっていて良かったな」という思いを披露してくれました。あきらめず続けること、無駄に思える時もあるかもしれないけど、でもそれを乗り越えた時に、きっと良いことに繋がる・・・と、これは知の側面の自ら学び、考え、実践する生徒に通じるものがあります。自分にできることをとにかく“やってみる”、“実践する”、“Do Action”が大切です。7月1日船中初めての「人権の日」の朗読、侑音さんが素敵な読み語りをしてくれました。タイトルは「自分ができることを」で、内容はネット上でのいじめや差別に関するものでした。『『やめようよ』おかしい？と思う自分と一方で現実世界のおかしさを解決できずに苦しんでいる自分がいる。葛藤しながらも、強い心の人になりたい。』との朗読に触れるなど、みなさんは色々な場面で徳の側面も学んでいます。道徳の時間はどうでしょう。学級担任の皆さんへの道徳科の評価から豊かな心を育てていることが覗えました。朝ボウもそうです。私も一緒にやってくれる皆さんがいると頼もしく、しかも学校がきれいになる一石二鳥です。そして何より、地域の方から「船中の生徒は偉いね、毎朝きれいにしているね」と声掛けされることがとても嬉しいことです。自分の学校ですからきれいにしたいですね。このことは、第二回校長講話で触れた、協働；共に協力して、力を合わせて働くことにも繋がります。次に皆さんの先輩のお話をします。5月23日ふれあい野球が本校で行われました。そのときにご参加いただいています。池田卓さんです。池田さんの著書「不便が残してくれたもの」に船浦中転校事件という目次があります。そのタイトルにも惹かれますが、ここでは野球大好き池田少年が夢に向かって考え、実践したことを紹介します。「足りないことが育てる『無いものねだりよりあるものに感謝する』」と編み出した野球の練習法の記述は皆さんに伝えたいところです。自分の置かれた状況でできることは、「壁あて、プロ選手を真似た素振り、ツルツルの使い込んだボール、ボロボロのスニーカー」それらが船中の背番号「1」四番バッターになったそうです。是非読んでみてください。「自分ができることをする」は自ら学び、考え、実践する生徒を育てます。一学期を振り返って、皆さんは学校生活の中で、先生、保護者や地域の方々、そして周りの仲間達とたくさんのできることを頑張ってきたと思います。まず、炭焼き体験学習を通してチャレンジビジネスまで進んでいます。生徒会総会に始まった委員会活動での取組、結ぬ海科2回の珊瑚モニタリングに出かけSDGsの取組にも向きあっています。部活動の集大成であるスポーツビッグイベントの夏季中体連は全力を出し切りました。3年生は修学旅行を終えて何を学んだのでしょうか。皆さんは少しずつ成長しています。それはみなさんをいつも見守っている先生や保護者の知るところです。皆さん自身はどうでしょう。夏休み、少し時間ができると思います。時間の使い方、一学期を振り返って「できたこと・できなかったこと・身についたスキル・知徳体の各側面で育まれた事」についてしっかり振り返りをして欲しいと思います。そして2学期、さらに実りある学校生活が送れることを期待しています。健康に気をつけながら安全・安心な毎日を過ごすこと、今自分ができることをやる夏休みにしてください。8月24日の二学期始業の日に38名元気な姿で会えることを楽しみに終業式のあいさつといたします。

令和3年7月20日
竹富町立船浦中学校 校長 宮城裕子

7月14日に第4回スピーチ集会がありました。以下2名のスピーチ原稿です。ご一読ください。

一様さん

スピーチ集会

世にも奇妙な都市伝説

「ゲームの世界」 みなさん、ゲームって知ってますか？ゲームとは実に人を楽しませてくれるいいものだと思えます。なぜならゲームには様々な魅力や楽しさがあります。今日はみなさんに、ゲームの種類やその種類特有の楽しさを3つしょうかいします。一つ目はTPSゲームがあります。TPSゲームとは自分でぼうけんして、いろんなアイテムや、武器などを拾って物語を集めていくゲームです。例えば「バイオハザード」「ファイナルファンタジー」「マインクラフト」などです。二つ目にFPSゲームです。FPSゲームとは、オンラインチャットで仲間やチームメイトといっしょにコミュニケーションをとりながら、空間を任意で移動でき、キャラクターの手元の視点のみ見えます。敵をたおすには武器か素手と決まっています。例えば、「フォートナイト」「こうやこうどう」などです。銃を使うのでエイム力（武器のひょうじゅんを敵に合わせる力）力が求められます。三つ目にアーケードゲームです。アーケードゲームとはお金を入れて、ボタンやレバーでそうさして楽しむゲームです。例えばパクションなどです。このゲームにどハマりしてしまうとさいふのお金がふっ飛んでいきます。他にも大きな大会でたくさんの賞金をかせぐ人もいます。例えば2年前にかいさいされたフォートナイト世界大会では世界各国から強いプレイヤー同士が戦いとても盛り上がった大会でした。この大会で優勝したフーガという人はなんと2億5千万円という大金を手に入れました。他にもさまざまなゲームからのほうしゅうで生活している人をプログラマーといいます。そしてオリンピックの競技にeスポーツという種目が追加されるかもしれません。そんな中、あまりお金を手に入れられなかったり、収入が安定しなかったりしてわずか1年で引退してしまう人もいます。プログラマーの平均年収は450万円、トップで1億円以上です。プログラマーは一日の半分以上を費やしているため視力の低下がとってもひどいです。それに健康被害にもあったりします。家に引きこもったりしている人も日本にいますのでこれからのゲームの付き合い方を考えていきましょう。ゲームをしている人は計画的に時間を決めてやりましょう。

みなさんは、怖い話は好きですか？怪談や意味が分かれると怖い話など、たくさんの怖い話があります。なかでも今日は私の好きな都市伝説についてお話したいと思えます。まず、都市伝説といえば「口裂け女」。口裂け女は赤いコートでマスクをしており、通りすがりの子どもに「私、きれい？」と聞き、子どもが「はい」と答えると、「これでも？」とマスクを外し耳まで裂けた口をしていて子どもをおそうという都市伝説です。完全なる不審者ですね。そんな口裂け女のもとになったのは、岐阜県の農家のおばあさんが庭の隅に口が耳まで裂けた女の人を見たという話からだそうです。今では、鎌を持っていてウサイン・ボルト選手より速い百メートル三秒台で走るなどという説があります。本当にいたらヤバイ人です。また、都市伝説は学校にもあります。一つ目は夕暮れ時のろう下にテケテケが現れるそうです。テケテケとは、下半身がなく上半身だけで歩き時速百キロ～百五十キロの高速で追いかけてくるようかいです。会いたい人はぜひ夕暮れのろう下で待ってみてください。二つ目は、夜中に段数が変わる怪談があるそうです。十二段だった階段が夜中になると十三段になっており、十三段目を踏むとあの世へ連れ去られるとか連れ去られないとか・・・気をつけてください。そして、三つ目は体育館で振り向くと誰かがいる幻覚が見えた人は不幸な目にあうことです。幻覚で見た内奥で異なりますが子どもの場合三日以内に軽い怪我をし、大人の場合、一年以内に大怪我をするでしょう。このように好きなジャンルの都市伝説を調べてみると怖い都市伝説や意外な都市伝説がありおもしろいです。また、私はみつけられませんでした「船中七不思議」をみつけてみるといいかもしれません。みなさんもぜひ都市伝説に興味を持ってみてはいかがでしょうか。

寧々さん